

人権さんだ

9 月号

令和5年(2023)

No.534

高齢者にやさしい社会を考える

《問い合わせ》
共生社会部福祉共生室人権共生推進課
TEL : 559-5148 FAX : 563-7776
E-mail : jinken_u@city.sanda.lg.jp



デジタル社会と高齢者

「気になるこの続きはWebで」「申し込みはQRコード(※)から」——皆さんは、これらのお知らせでせっかくの興味が削がれたことはないでしょうか。

今や、スマートフォンやタブレットなどのデジタル端末を持つことは当たり前の時代となっています。また、世の中のあらゆる情報、サービスのデジタル化が急速に進み、近年のコロナ禍においてそれは加速度を増してきました。

家にいながらにして様々な情報を入力し、手軽にショッピングや各種手続きが行えたり、国を超えて交流ができたりと、デジタル化による恩恵は計り知れません。しかし社会全体の利便性が向上する一方で、それは必ずしも高齢者にとって優しいものとは言えず、使い方が分からないことでもかえって取り残されたり危険にさらされたりしかねない状態にあるともいえます。

※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

もっと使いたいけれど

身近に教えてもらえる人がいない、携帯電話会社のショッパで聞きたいときに聞けない、家族に何度も聞くのは気が引ける…など、様々な理由でデジタル端末を安心して使えていない人も多いのではないだろうか。

スマートフォンを利用する中で、どのようなことで困っているのか高齢者の人に聞いてみました。



分からない…



- ・スマートフォンに詳しい友達も、機種が違つと分からない
- ・アカウント、パスワードなどが覚えられない
- ・ネットショッピングをしてみたいけれど、やり方が分からない
- ・広告メールが多く削除するのが面倒
- ・迷惑電話がかかってくる

操作に不慣れなことや用語が難しいせいで、思わぬトラブルを経験した人もいました。

チケットの引落とし口座を登録したはずなのに、また案内が来た！



おもわぬトラブル

迷惑メールや広告が多くて、意図せず開いてしまった！

知らない間に有料オプションがついていた！



こういった困りごとは、身近にいる人に相談することで簡単に解決できるものも少なくありません。

人にやさしい社会をめざして

高齢者に同じことを何回も聞かれ、面倒に思ってしまったことはありませんか。初めての操作、難しい用語を前になかなか思うように使えず、「知りたいけど講習会に行く勇気がない」「聞きたいことを控えておいて、遠くに住む孫が来た時にまとめて聞いている」など、スマートフォンを活用したい意欲はあるのに様々な理由で戸惑っている人もいます。

もしも高齢者にスマートフォンの使い方についてサポートする機会があれば、大きな声でゆつくり話す、同じことを聞かれても繰り返し答える、笑顔で声をかけてみる。これらは小さなことかもしれませんが、それだけで高齢者が安心して学ぶきっかけになります。そして、デジタル活用の一歩目を踏み出すことができますれば、身近な人を誘ってスマートフォン講座に参加してみたり、次は自分が教わったことを教えたりできるようになります。

それはスマートフォンの使い方に限られません。困っている人がいる時に、その人のために何ができるか、どう寄り添ってあげられるのかを考え、行動してみませんか。そんな支えあいの輪が広がっていくことで、より暮らしやすい社会になるのではないかと思います。



スマートフォン講座の様子

学んでみよう！ スマートフォン講座

市では、習熟度に合わせたスマートフォン使い方を学べる講習会や相談会を開催しています。

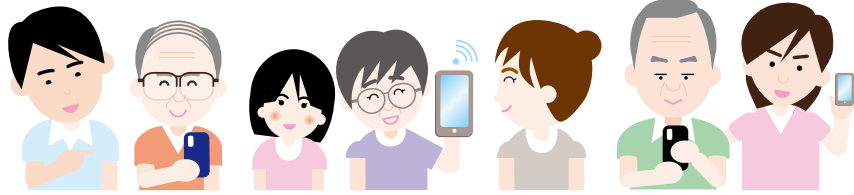
過去の受講者の声

- ・ 孫と自宅で話をしていてよくな感じで聞けた
- ・ 教えてもらった機能を他の人に教えてあげられた
- ・ お店に行くほどのことではないことも聞けた
- ・ 受けるまでは勇気がいったけど、色々教えてもらって時間が足りないくらいだった
- ・ 操作の仕方だけではなく、アプリのプラス面マイナス面など注意すべきところを教えてくださいました

受講者は悩みながらもスマートフォンを活用することで、家族の様子を動画で見ることができたり、QRコードから情報を表示させたり、料理のレシピを検索したり、これまでできなかったことができるようになり、暮らしが便利になったことを実感しています。

自治会などでスマートフォン講座を開催されている地域もあり、デジタル端末について知る機会が増えています。

興味のある方はぜひ、お気軽に参加されてはいかがでしょうか。



令和5年度スマートフォン講座

※各講座の詳細は市広報誌でお知らせします

初級者向け講座	スマートフォンを持っていない、あるいは持っても活用できていない初心者向けの講座です。電源の入れ方から画面のタッチの仕方、電話やメール、写真の撮り方など基本的なことが一から学べ、デジタル活用の一歩目が踏み出せます。
中級者向け講座	電話やメールはできるが、アプリやSNSも使ってみたいという人向けの講座です。あらゆる情報が手に入れやすくなり、自らも発信することで世界が広がります。
上級者向け (サポーター養成) 講座	スマートフォンを普段から使いこなせている人で、身近な人や地域で使い方を教えられる「スマホサポーター」を養成します。より深く知識を得るとともに、「人に教える」視点を学ぶことで自身にも新たな発見があるかも。困っている人が気軽に頼れる存在をめざします。
12月開催予定 入門編/活用編	
11月開催予定	
令和6年2月開催予定	

《問い合わせ先》 いきいき高齢者支援課 TEL 559-1587 FAX 563-7776

令和4年度 人権標語受賞作品

大丈夫の言葉に隠れた SOS
 狭間中学校3年(前年度)
 三浦心那さん

くらしの人権相談

TEL 559-5062 FAX 559-5063
 月曜～金曜 9時～17時(※祝日・年末年始を除く)

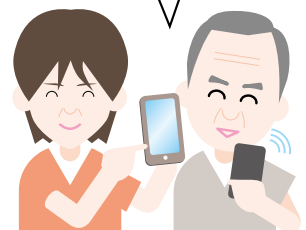
専門相談員による性的マイノリティ特設電話相談(予約)

TEL 559-5062 FAX 559-5063
 月曜～金曜 9時～17時(※祝日・年末年始を除く)
 ※専門相談員との相談日は予約後に調整

人権擁護委員による定例人権相談(予約)

TEL 559-5148 FAX 563-7776
 《次回相談日》9月28日(木) 13時～16時

みなさんの参加をお待ちしています



「助け合い」



藍小学校5年(前年度)
水谷 穂野花 さん

わたし

No.186

出会う
気づく
つながる

お互いを認め合う生徒会活動

八景中学校教職員

西畑 明さん

ありがとうの輪

昨年度、八景中学校の生徒会活動では「現状打破」乗り越えよう「今の自分」をスローガンに、様々な活動を企画・実行し、いじめのない、明るい学校生活を実現しようと取り組んでいました。

1年生が入学してすぐ、いじめをなくすとirikumiの活動を行いました。がとうの輪の活動をを行いました。昨年度の生徒会役員として、初めてのオリジナル企画でした。小さいことですが、思わずありがとうと言ってしまう行動や日ごろからの友達への感謝の気持ちをハート形の用紙

に全員に書いてもらい、各クラスの前に掲示しました。貼り方も微妙に違いをつけ、クラスの違いをつけるよう、努力しました。新しい学校や新しいクラスの友人がどんな思いをもっているのかを知ること、感謝の気持ちの輪を広げ、みんなが優しい気持ちで楽しく学校生活を送れるようにという願いをこめて考えた企画です。各クラスの生徒たちが熱心に見ている様子から、役員たちも手ごたえを感じ生徒会活動への新たなやりがいを感じていたようです。



普段の生活を振り返る

普段の中学校生活の中で、仲がよい関係だからこそ、つい心無い言葉を発してしまうこともあるという意見などを参考に、様々な「いじめ防止運動」も企画しました。有志や、役員の協力を得て、いじめ防止ポスターを作成して校内各所に掲示しました。普段見かけるこのポスターで自分の行動を見直し、生活の中でのおかしい点を見つけていくということに役立っています。



今の自分を見つめる

これまでの生徒会活動では、いじめや嫌がらせが起きる前の、普段の生活を明るく楽しいものにしたという気持ちを大切にしています。年間を通じて、いじめ防止川柳や標語などの募集にも取り組み、普段の生活の中にこそ、いじめを許さないお互いの心配りがあるのだということ発信しています。

市民啓発講座のご案内

【講演】 高齢者の福祉の現場から人権を考える
～認知症、寝たきり、介護が必要な人の
気持ちを想像してみよう～

【日時】 9月17日(日) 14時～15時30分

【場所】 まちづくり協働センター
(キッピーモール6階 多目的ホール)

【講師】 前川 嘉彦さん

(社会福祉法人三翠会 統括施設長)

※申し込みは右記二次元コード(QRコード)から



《問い合わせ》 共生社会部福祉共生室人権共生推進課
TEL: 559-5148 FAX: 563-7776

私は、生徒はみんなとても親しみやすく人間味あふれる子どもたちだと思います。反面、思ったことをすぐに言葉に出すので、知らない間に人を傷つけてしまうこともあります。私はそのことに生徒たち自身が気づき、生徒会活動で具体的に行動できたと感じています。
現在の生徒会役員たちは、これまでの先輩たちの活動をさらに発展させ、「輝笑転結(一人一人が輝き、笑い、失敗しても転んでしまっても、最後にはしっかりと結んでいこう)」をスローガンにさまざまな人権活動に取り組んでいます。お互いに認め合い支え合う生徒会になるよう、子どもたちと共に行動していきたいです。